

「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」

会員募集

世界のカーボンニュートラルに貢献する
協議会の会員を募集します！

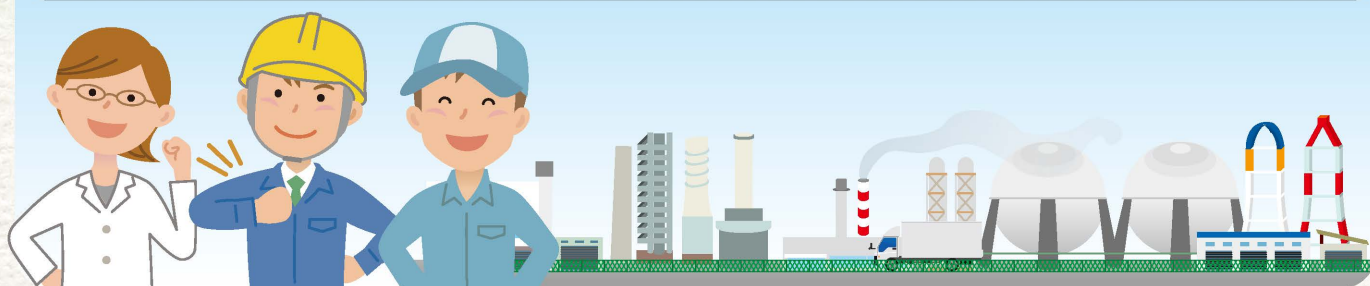
広島県は、世界的な脱炭素社会への動きを見据え、CO₂削減やカーボンリサイクルの先駆的な研究開発拠点となり、技術の社会実装を推進することで、県内の地域振興やカーボン・サーキュラー・エコノミーを実現し、2050年に向けた世界的なカーボンニュートラル達成に貢献するため、令和3年5月に協議会を設立しました。

【関連用語】

- カーボンニュートラル (CN)
何かを生産するなどの一連の人為的活動を行った際に排出される温室効果ガスの量と、吸収される量を同じにすること (カーボン・サーキュラー・エコノミーを目指すことで実現される世界)
- カーボンリサイクル (CR)
CO₂を炭素資源と捉えて回収し、化学品や燃料、鉱物といった炭素化合物として再利用すること (カーボン・サーキュラー・エコノミーの取組の一部)

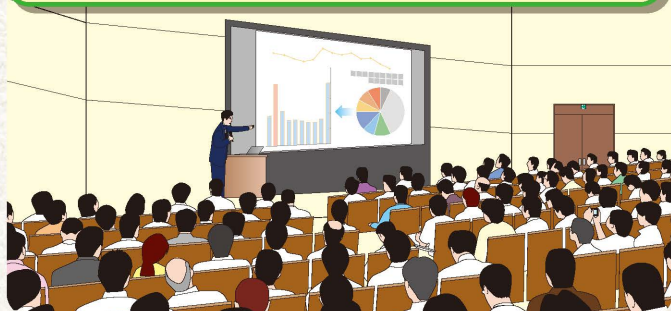
活動内容

研究開発・実証試験の検討及び実施
プロジェクト創出、マッチング支援など



関連する技術・取組の紹介

フォーラム、ワークショップ等の開催による情報提供



規制緩和など要望を取りまとめた政策提言

国や県内外自治体との連携



協議会会長および広島県知事からのメッセージ



広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会

会長 市川 貴之

(広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授／
広島大学カーボンリサイクル実装プロジェクト研究センター センター長)

広島県を中心とする瀬戸内海沿岸地域には、カーボンリサイクルの高いポテンシャルがあります。例えば、日照時間が長く温暖な気候を利用した太陽光発電でCO₂フリー水素を製造し、工業地域から排出されるCO₂を反応させることで様々な化学製品を製造することも可能です。広島大学では、本年2月に、カーボンリサイクル実装プロジェクト研究センターを設立し、再生可能エネルギー産出技術の研究や、CO₂の捕捉・固定化技術等の研究を行っています。本協議会を通じた産学官の強固な連携の下、世界のカーボンニュートラルに貢献できると強く期待しています。



広島県知事 湯崎 英彦

大気中に放出されるCO₂の削減を図るカーボンリサイクルは、カーボン・サーキュラー・エコノミー社会の実現に向けた重要な技術ですが、その多くが研究段階にあります。大崎上島町では、発電所から排出されるCO₂リッチガスを利用した、カーボンリサイクル実証研究拠点の整備が進められており、県ではこうした動きと連携しながら、今後、様々な視点で研究や実証を促進していきたいと考えています。広島県は、カーボンリサイクルやカーボンニュートラル関連技術の開発と社会実装に挑戦する皆さまを応援します。共に、未来にチャレンジしましょう！

入会対象・条件

対 象

1. カーボンリサイクルやカーボンニュートラル、脱炭素等に関心のある企業、産業支援機関、行政機関など企業・機関単位
 2. 大学・試験研究機関に所属する研究者
- ※入会対象・条件についてご不明点等あれば、お問い合わせ願います

入 会 金 費

無 料

お問い合わせ先

広島県商工労働局 イノベーション推進チーム
カーボンリサイクル推進グループ
〒730-8511 広島市中区基町10-52 TEL 082-513-3368

公益財団法人中国地域創造研究センター
〒730-0041 広島市中区小町4-33 中電ビル3号館5F TEL 082-245-7900



入会方法

下記サイトにアクセスし、必要事項を入力ください

<https://hcce.jp/member/>



【個人情報等の取扱いについて】

ご登録いただいた個人情報は、協議会で適切に管理し、協議会の管理運営のほか、最新情報の提供及び講演会など、各種ご案内等に利用させていただきますのであらかじめご了承ください。